

ライフライン通信

新着DVDをご紹介します！



よかったら参考にしてください！



R6年度

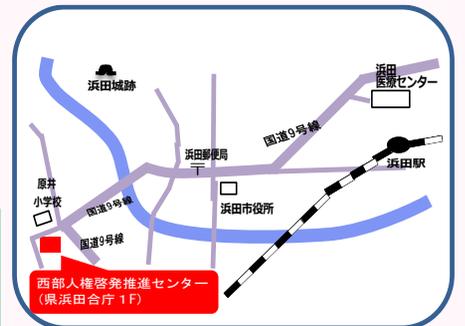
人権課題	コード番号	題名	内容	時間(分)	スタッフの感想等
同和問題	は-40	★おすすめ★ 島崎藤村、不朽の名作60年ぶりに映画化 破戒 【企画・制作】全国水平社創立100周年記念映画制作委員会・東映株式会社	瀬川丑松（間宮祥太郎）は、自分が被差別部落出身ということを知り、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩み、差別の現状を目の当たりにして心を乱しつつも下宿先の土族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えがあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始める。苦しみの中、丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子運太郎（真島秀和）に傾倒していく。	119	▶人の本質はなかなか変わりませんが、世の中を良くしようという思い・行動・勇気が大切であると改めて感じた。主人公のように強くなれるか分かりませんが、自分のいつらか頑張ってみようと思う映画だった。
	た-16	★おすすめ★ ★西部センター所蔵 大切なひと 【企画・制作】兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会・東映株式会社	ネット社会における部落差別と人権。 インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	34	▶無意識の偏見や思い込み、決めつけなどが様々なテーマでドラマ仕立てになっていて、とても分かりやすかった。 ▶人権の内容ではあるが明るく表現されているので、観ていて重い気持ちにならず、前向きになることに気づけると感じた。
	心-64	部落の心を伝えたいシリーズ番外編 私と部落とハンセン病～林力99歳の遺言～ 【企画・制作】案創事務所・フルーク映像株式会社	九州で初めて同和教育を始めた林力さん99歳、そのきっかけは父のハンセン病だった。昭和12年、父は国立ハンセン病療養所鹿兒島星塚敬愛園に隔離された。差別が厳しかった時代、林さんは父の「隠して生きろ！」の言葉に忠実に生きる。教員となった林さんは被差別部落の子たちと接する中で「水平社宣言」に出会う。「隠して生きる」ことの意味を自らに問い続ける日々…。「恥でないことを恥とするときそれは本当の恥になる」51歳で『解放を問われつづけて』を出版。祖父の苦悶、自身の苦悶、すべてを一人娘の美知子に伝えたい思いからだった。「無知こそ差別の始まりである」林さんは揺るぎない信念で反差別を貫き通す。ハンセン病家族国家賠償請求訴訟では原告団団長を務め勝訴、今も精力的に講演活動を行う。娘は言う。「父はこめんねこめんねの旅を続けている…」と。	26	▶長く同和教育に取り組み、また家族にハンセン病に罹患した人がいる方の証言なので説得力がある。
人権全般	は-40	★西部センター所蔵 ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見 職場のコミュニケーション向上のヒント 【企画・制作】東映株式会社	「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っている、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。この教材は、登場人物の視点や立場が変化する構成によって無意識の偏見を見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分ごととして考えることができる内容になっています。自覚なくハラスメントの加害者にならないために……。職場のコミュニケーションを見直すきっかけとしてお役立てください。	24	▶アンコンシャス・バイアスは様々なDVDが出ているが、この作品はパンチが効いているというか、インパクト大な作品。
	し-100	★おすすめ★ ★西部センター所蔵 人権のすすめ II 【企画・制作】東映株式会社	この教材は、職場におけるさまざまな困りごとや課題をテーマに取り上げ、それぞれ独立したミニドラマでの「気づき」を通して、多角的に人権問題やコミュニケーションの課題を学んでいく映像教材です。 ①テレワーク時代のコミュニケーション編 ーハラスメント他ー ②アンコンシャス・バイアス&マイクロアグレッション編 ー多様性他ー ③心理的安全性編 ー働き方・人事育成/マネジメント他ー	24	▶前年度作品の「人権のすすめ」は貸出希望が多かった。「人権のすすめII」では取り上げているテーマが違うので貸出希望が多いと思う。
	た-17	誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ② 心をつなぐ、はじめの一步 【企画・制作】東映株式会社	この教材では、職場におけるさまざまな人権課題を切り口に、人は価値観や背景など一人ひとり違うということを理解し、互いを認めて尊重する気持ちの大切さを、主人公と共に学んでいきます。職場の誰ひとり取り残さないために、さまざまな人権課題を自分事としてとらえ、誰しもが生き生きと働くためにはどういったコミュニケーションが必要なのか？ドラマを通して『心をつなぐ、はじめの一步』を踏み出すヒントを与える映像教材です。	26	▶見やすくわかりやすい内容で、若い社員が主人公のため、若年層にとって身近に感じられると思う。（もちろん中高年もOK!）
	こ-48	★おすすめ★ 言葉があるから・・・ 【企画・制作】東映株式会社	「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。しかしながら、普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、家族や友人、同僚などの近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれず、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。	31	▶被差別部落出身者ではない若者が主人公となり、現代のネット社会による部落差別をテーマとしているので、若い世代にも心に入りやすいと思った。
性的指向・性自認等	こ-49	★西部センター所蔵 LGBTシリーズ 心の性を生きる～いよたみのり～ 【企画・制作】案創事務所・フルーク映像株式会社	いよたみのりさん（54）は2022年に性別適合手術を行い、戸籍も男性から女性に換えた。壮絶な人生を明るく語るみのりさんの笑顔には、ありのままに生きる自信が溢れる。カミングアウトできなかった青春時代、本当の自分を隠しての結婚、親としての暮らし、職場でのストレス。その後、36歳で自殺未遂。18年の結婚生活にも終止符を打った。「人生グラフでは暗闇の時代でした」心の性のままに生きたい！46歳で改名、50歳で自分と同じような気持ちをもつ人たちのための居場所としてNPO法人MixRainbowを立ち上げた。学校や行政、企業での講演活動、ラジオ出演、LGBTの困り事へのチャレンジ、そして月例会「みんなの居場所」では手術1周年記念講演など、包み隠さないエネルギーが、アライ（理解者・賛同者）を増やし続けている。	27	▶ドキュメンタリーなどでトランスジェンダー当事者の思いや生き様が伝わってくる。手術について語っている作品は少ない。

※出典：東映株式会社の内容についてはチラシを引用
その他の作品の内容については制作会社の許可有

人権課題	コード番号	題名	内容	時間(分)	スタッフの感想等
アイヌの人々	あ-43	Ainu — ひと— 【企画・制作】GARAFILMS・平取町立二風谷アイヌ文化博物館	日本の先住民族・アイヌ。Ainuはアイヌ語で「ひと」を意味する。かつて、アイヌモシリ（アイヌの大地）と呼ばれた北海道の日高地方・平取町には、今も多くのアイヌ民族が暮らしている。 アイヌ文化研究において多大な貢献を果たした故・萱野茂氏の出身地でもある。1869年、明治新政府がアイヌ民族を「平民」として戸籍を作成し、同化政策や開拓を進めた結果、アイヌ文化は急速に衰退していった。 一世紀半経過した今、生活スタイルを変容させながらも、アイヌ文化を伝承する努力を続けてきたこの地域には、現代のアイヌが快活に生きる。 ドキュメンタリーの主人公は、個性多様な4人の「Ainu=ひと」たち。 差別と貧乏を経験した人、伝統的な縫物を作る人、祖母のカムイユカラ（口承文芸）を聞き覚えている人、イオマンテ（熊送り）などの儀礼儀式を小さい頃に見聞した人。文化伝承のために、地域のリーダー的存在として、積極的に活動する。昭和から平成のアイヌの変容を示す生き証人もある「ひと」の姿を描いたドキュメンタリー。	61	▶アイヌ民族の文化を中心とした貴重な資料・作品だと思う。
	い-31	★おすすめ★ ★西部センター所蔵 【文部科学省選定作品】 いじめ ～それぞれの想い それぞれの言い分～ 【企画・制作】東映株式会社	近年、正義感ゆえの言動がいじめに発展してしまう事例が増えているといわれています。「ウザいから」「みんなと違うから」という短絡的な理由ではなく、相手の非を許すことができず、対話がないまま制裁的にいじめをしてしまうという構造です。 このようないじめを防ぐためには、自分の目に見えていることが全てではなく、相手には相手の事情があることを理解する「想像力」が大切です。 この教材では、一見非があるように見えるいじめ被害者の事情、正義感がいじめに発展するまでに至った加害者の気持ち、板挟みになる傍観者の心理など、様々な立場にいる生徒を多角的に描くことで、相手の見えない事情を想像することの大切さを提起します。 また「晒し」や「ステマいじめ」といった、現代特有のSNS上のいじめについても注意喚起をしています。	23	▶中学校、高校の生徒向けなので、学校にはおススメだと思う。 ▶スマホによるSNSなどのやり取りが、トラブルの原因という内容が今の時代に合っている。
子ども	た-18	アニメ 多様性の芽をはぐくむ ①人種・国籍 【企画・制作】株式会社サンエデュケーション・東映株式会社	来日・滞日する外国人は年々増加しており、子どもたちにとっても身近に外国人と接する機会が増えてきています。見た目や言語、文化、習慣など様々な側面で「違う」存在である外国人との出会いは、子どもたちにとって新鮮かつ多様性を知る貴重な経験になる一方で、その違いに起因する誤解が生じてしまうことや無理解な態度が表出されることがあるかもしれません。 この巻は、子どもたちが人種、国籍の違いから起こってしまうことがある無意識な思い込みや偏見、差別的な感情が自分自身の中にもあるかもしれない、そういった思考に気付くと共に、お互いを尊重できる感性を育てることをねらいとしています。	12	▶人種・国籍に対するアンコンシャス・バイアスについてわかりやすく描かれている。
	う-03	★おすすめ★ ★西部センター所蔵 うみとりくのか からだのはなし 【企画・制作】東映株式会社	ふたごのうみとりくは、そっくりだけど、ぜんぜんちがう。 りくはおかあさんになでられるのが好きだけど、うみはなでられるのが苦手。 そんな2人といっしょに、みんながそれぞれのからだを大切にすることは、どうしたらよいかを考えるアニメーション教材です。 ●自分の体にだれがどんなふうに触れるかは、自分で決められること。 ●相手の体に触れるときは、同意が必要なこと。 ●触るのも見るのも自分だけの、とくべつ大事な場所、プライベートパーツとは？ ●プライベートパーツに触れられそうになったら？ 触られてしまったら？ 大事なことだけれど、なかなか話しあうのが難しいからだの話を、かわいらしい双子といっしょに、やさしいシンプルなことばで考えます。 性犯罪から身を守ることはもちろん、相手の体を尊重する態度を身につけます。 「生命の安全教育」の教材にも最適です。	16	▶子どもの性教育について、大人と一緒に観て学べる作品だと思う。保育園・公民館などで活用できそう。
障がいのある人	し-101	障がいのある人の気持ち 私たちの一歩 【企画・制作】東映株式会社	合理的配慮とは、障がいのある人が障がいのない人と同じように生活できるよう、それぞれの障がい特性や困りに合わせて行われる配慮のことをいいます。合理的配慮の提供は国や自治体に義務付けられているものですが、令和6年4月1日より、民間事業者にも義務付けられることになりました。しかし、社会にあるすべての障壁をすくに取り除くことは難しいことです。そのため、困っている障がい者を見かけたら手助けをすることが大切です。 本作品では、実際に車いすを体験した二人の中学生のレポートと、パラアスリートのインタビューを通じ、障がいのある人がどのような手助けが必要とされているのか、私たちに何ができるのかを考えていきます。	18	▶見るだけで車椅子体験ができるのでテーマは良いと思う。 ▶車椅子体験をDVD化したもので、時間も15分程度で良い。
	し-102	★西部センター所蔵 障がい者と共に働く ～合理的配慮と共生社会～ 【企画・制作】株式会社アスカリエイト	合理的配慮とは？—障がい者雇用促進法と障がい者差別解消法 障がい者の特性と合理的配慮 身体障がい（視覚・聴覚・言語・肢体/内部 など） 知的障がい 精神障がい（統合失調症/うつ病/双極性障がい など） 発達障がい（ASD 自閉症スペクトラム/ADHD 注意欠陥多動性障がい/LD 学習障がい） 事例ドラマ—ASDのメンバーへの合理的配慮 どのような合理的配慮が必要か	34	▶発達障がいに関して取り上げられているが、管理監督者向けの内容に思った。 ▶障がい者雇用に向けて積極的に取り組む企業へはおすすめ作品だと思う。
様々な人権課題	と-16	★西部センター所蔵 ともに歩むために ～公正な採用選考の理解と 認識をめざして～ 【企画・制作】東映株式会社	この作品は、ある企業の人事職員が採用選考において相次ぐ内定辞退に直面し、さらに就活情報サイトでの批判的な書き込みコメントをきっかけに、自身の会社できちんと公正な採用選考が行われていたのか、人権意識やCSR（企業の社会的責任ある活動）の観点で無意識のつまづきが無かったか、採用プロセスの検証と点検を行っていくことで、改めて公正な採用選考に向き合う物語です。 新たな仲間を探して出会い、互いを知って共に歩むために。そして働く従業員ひとりひとりが人権意識を持って共に歩むために、公正な採用選考の理解と認識をめざす映像教材です。	28	▶企業向けで、具体例がたくさん入っておりわかりやすいのでは。ホワイトを目指す企業の参考になると思う。
	ひ-15	ビジネスと人権 第2巻 あなたならどうする？ 【企画・制作】株式会社アスカリエイト	ビジネスと人権が目目される背景 企業が尊重すべき人権 一人権リスクの25分野 企業が人権への影響を配慮すべき状況 事例マンガ① 新商品に児童労働の疑いのある原料が使われると知ったら？ 事例マンガ② 商品の換金を無資格者がしていると知ったら？ 事例マンガ③ 部長の出した広告案がジェンダー的にビミョーと感じたら？	38	▶企業向け作品。基本的な知識と内容 CSR（企業の社会的責任）、SDGsの解説で人権課題が含まれていることなど分かりやすい作品だと思う。

島根県西部人権啓発推進センター

〒697-0041 浜田市片庭町254番地(浜田合庁1階) TEL:0855-29-5503 FAX:0855-29-5531



★詳しい内容は、センターホームページをご覧ください。Webサイトは「島根県 人権」で

検索